



ぶどうのささやき

24号

2017年
7月15日発行

地域経済の活性化を目指し、社会貢献をしています。

元気な街からチャレンジする若者を！

～ 将来に明るい希望を持つ若者が少ない ～

平成26年版内閣府の若者意識調査（日本を含む7か国満13歳～29歳の若者への意識調査）を見ると、正直愕然とせざるを得ない。

それは何故か？ 日本の将来に危機感が漂い、本当に大丈夫かと思うからである。

調査の内容をもう少し詳しく見てみると、

○ 諸外国と比べ、自己を肯定的に捉えている者の割合が低く、うまく行かかわからないことに対し意欲的に取り組む意識が低い。

○ 諸外国と比べ、つまらない、やる気がないと感じる若者が多く、自分の将来に明るい希望を持つ若者が少ない。

私が特に気になったのは、“自分の将来に明るい希望を持つ若者が少ない”の所である。もし希望を持ってない若者が多くいるならば、漸く3万人を割り、2万人台の前半まで減少してきた自殺者も、これ以上は減って行くのは難しいかも知れないと考えたり、今までぶつかったことのない問題に遭遇した時、尻込みしたり諦めたりする若者が続出したら、閉塞感に覆われ、世の中にもささちも行かなくなるのではと余計な心配をしてしまうのである。

勿論、心配なことだけでなく下記のような一面があるのは救われるのだが。

○ 諸外国に比べ、社会規範に対する意識が高い。

○ 日本人である事に誇りを持ち、日本のために役立つことをしたいと思っている割合は高い。

勝手に心配するだけではちががあかないので、若者調査をさらに分析してみて、どうしたら良いかを考えてみたい。

～ 元気な街が明るい若者を生み出す ～

自己意識が高い若者や自国の将来に明るいイメージを持つ若者は、同時に将来への希望を持っている割合が高い。そして更に、自己肯定感が強い若者の特徴は、家族関係、学校生

追浜工業会
事務局長 井上 道臣



活、職場生活が充実し満足している若者ほど、自己肯定が高い傾向にあるようだ。このように見て来ると、家庭と学校と企業そして地域社会が一体となって、子供や若者の成長を見守り支えることのできる環境づくりを進めて行く必要性を痛感する。

当工業会の会員企業も多くの若者に働く場を提供している。その人達の多くが、出来れば将来に希望が持てるようであって欲しいと強く思う。そのためには、

① 横浜 DeNA さんに協力して毎年実施している“追浜デー”を継続実施して、小学生や地域の人たちに、地元企業を知って戴く努力。

② 会員企業で実施の“ものづくり教室”や“工場見学”を通じて、地域に根ざした親しまれる企業や工業会を目指す。

③ 追浜の街の元気とチームワークを商店街や行政と一緒に創って行く。

など地道な活動だが、今後とも続けて行きたい。活動を継続することで、元気な街が生まれ、将来に少しでも希望を持つ若者が育ってくれたらと思う。

産業クラスター研究会さんとは、各々の研修会や講演会などを通じて、相互に連携、協力させて戴いています。“頭を使う研修”だけでなく、追浜の街で実施している“追浜バル巡り”にも毎回多数参加され、飲コミュニケーションでの連携も盛んです。団塊の世代の小生よりも少々兄貴分ですが、いつまでも若々しく率先垂範の行動力には舌を巻きます。これからも、会員企業や地域の活性化のため、協力と連携の絆を強めて行きたいと考えています。

クラスターとは・・・

クラスターとは、ぶどうの房や羊の群れを意味します。米国の経済学者マイケル・ポーターが著書『経済戦略』の中で異業種間のネットワークを構成している状況を意味するものとして『産業クラスター』という言葉を使っています。私たちは地域経済活性化への貢献を目指して、2003年8月に産業クラスター研究会を設立しました。

平成29年度活動方針について

「景気は回復している」「商いは悪くない」という話を当会の幾人かの法人会員経営者からも耳にします。内閣府発表の景気動向指数は2012年末から右肩上がり、GDPは今年1～3月期は年率換算で1.0%と5四半期連続でプラス成長。さらに企業の17年3月期決算は過去最高益の大企業が相次いでおり、先日発表の6月、日銀短観の業況判断指数(DI)も全規模全産業でプラス12と最高になったなどの報道があります。

一方、当会法人会員から当会に期待することを聞く機会がありましたが、少子高齢化社会が進む中小企業には若い人材はなかなか集りにくい状況にある。中小企業の経営者は「これから先どうやって事業を継続していくのかということに向き合っている。30年、50年と事業を継続していくためにはIoTなどを活用して会社を変革をしていかなければいけない」「NPOは企業の切実な課題に応えることができるように取り組むと同時に、理念とビジョンを持って自身も変革をして欲しい」という厳しくも率直なもう一つの意見でした。企業においても個人においても経済格差が拡大していると思われる中、どこまで期待に応えることができるか。地域企業の皆さんや市民の皆さんとの交流を深め、地域経済活性化に係る支援活動を地道に展開する方針です。

具体的には

- (1) 支援企業の一層の拡大及び活動地域の深耕を図る。
- (2) 行政および法人会員企業との協働事業の展開を図る。

理事長 木下 武



(3) 市民活動などのボランティア活動をしっかりと展開する。

などを今年度方針として掲げましたが、企業の支援活動は地域中小企業の課題解決の支援、横浜市立大学CSRセンターよりの委託事業の継続、横須賀商工会議所と連携した米軍入札の支援などです。支援先の皆さまから高い信頼をいただいていることをありがたく思っています。

協働事業の展開は、法人会員企業や行政と一緒に新しい経済活動を支援することですが、時間もかかるし、なかなか難しいことです。

ボランティア活動は市民に役立つ講演会・セミナーの開催、また当会のPR活動と会員の増強を通じてさまざまな行事に参画していくことを考えています。

近年、NPOに求められることは公共性、公開性、初心に戻るです。公共性は一般市民向けの活動または市民協働、公開性は財務諸表等の公開です。初心に戻るは当初ミッションの実行と思っています。

当会は本年 創設14年。地域経済の活性化に寄与することを目指していますが、まだまだ限定的であります。再認定されたNPO法人としてより一層事業の精励を心掛ける次第です。

【歳時記】

メモリアル・デーに インディ500を制した日本人レーサー

アメリカには「亡き人を偲ぶ」という意味では、メモリアル・デーと呼ばれる戦没将兵追悼記念日がある。起源は南北戦争で命をささげた将兵を称える行事だが、ニクソン大統領の時代に五月最終月曜日をメモリアル・デーとして国民の祝日とした。これによって五月最終週は三連休となり、それがアメリカの夏休みの始まりを告げるのだという。この間スポーツ行事も盛んに行われ、その中心的イベントこそ、本稿の主題であるインディアナポリス500マイル自動車レースである。

半世紀前、自動車会社に入社した私にカーキチ先輩達が「教育」と称してまず見せたのがこのインディ500の記録映画。私はそのド迫力にたちまち魅了されてしまい、以来草ラリーの世界に独身時代を捧げてしまった。

とはいえ「歳時記」のコラムに不釣り合いかも知れない外国の祝日や自動車レースを取り上げた訳は、あの超ビッグニュース「日本人レーサー佐藤琢磨、インディ500を制す」が飛び込んで来たからである。

アメリカ最高の自動車レース、インディ500は今年で二〇一回目。ル・マン二十四時間耐久レース、F1(エフワン)シリーズの中のモナコグランプリとともに、世界三大自動車レースと言われているが、決勝レースは三台ずつ十一列、計三十三台がひしめいて二、五マイルの楕円形のコースを最速三八〇キロ毎時で二百周する。各車はライバルよりも、むしろ乱気流と戦いながら走るのだといえる。実際、佐藤琢磨自身も二〇一二年、最終ラップでトップに躍り出た瞬間、乱気流に巻き込まれ側壁に大クラッシュしている。今年も二〇〇八年優勝のスコット・ディクソンのマシンが五、六mも空中に飛び上がるという派手なクラッシュを見せた(本人が無傷だったのは幸い)。

インディアナポリス・スピードウェイのコースをびつしりと取り巻く観客席の収容能力は何と二十五万人分。更にインディ500レース決勝ともなるとインフィールドにも五万人の観客が入る。この、一会場に三十万人という収容能力は、世界中のあらゆるイベント会場の規模を上回るダンツの数字だという。そのような舞台と状況のもと、日本人レーサーが大仕事をやってのけた。次々タイアアして行く世界のトップレーサーたちをしり目に、また過去三回もの優勝を誇り、もはやレジェンド扱いされているブラジル人のカストロニーヴェを最後の五周で抜き去ったの優勝である。日本での知名度は高くはないが、もう間もなくアメリカでの彼の名はイチローに匹敵するビッグネームになることだろう。(岩)



インディアナポリス・スピードウェイ

世界のコーヒーを高度な焙煎技術で地域の活性アイテムに

当店は 2009 年 7 月に創業。2017 年 7 月で丸 8 年になります。

自家焙煎コーヒー店を地元金沢文庫の地で開業した経緯は、食品の輸入商社で勤務していた際、中国やロシアなど原材料の生産地へ赴き現場のシステム開発や作業の指導などを経験していく中で、「原材料を自分の目で吟味し、さらに自分で加工をし、最終的に自分で直接消費者に販売をするところまで完結させたい」という強い思いが沸いたからです。



自家焙煎器具と長瀧社長

地域に根付いた地域一番店への思い

近年コーヒー業界を取り巻く環境や流れはめまぐるしく変化を続け、消費者のコーヒーや焙煎に関する知識は底上げされ、自家焙煎したコーヒーを少量から販売・提供する店の存在は珍しくなくなりました。

地域に根付いた地域一番店を目指し、自信をもってお勧めできる美味しいコーヒー豆を作るためにこだわった最大のポイントは、大変稀少な国産のオーダーメイド「熱風式焙煎機 GRN」を使用し高い技術を誇っている点です。

さらに、個人店では大変珍しく横浜市内でも数件しかない「アフターバーナー(脱臭装置)」を設置し、近隣に焙煎の影響(臭い、音、振動)を及ぼさないように細心の注意を払い、環境に配慮した経営を心掛けております。

2015 年、当店の【町屋ブレンド ドリップバッグコーヒー】が地元金沢ブランドの認定商品となり、区役所をはじめ多くの地元物産展やイベントでの販売が可能となり、これをきっかけに地域との接点が飛躍的に広がり、コーヒー教室を多数開催するに至りました。

CSR への意識の高揚

2016 年には金沢区役所主催のシニアコーヒーボランティア活動に講師として参加。熱意あるボランティアの方々の方々の自発的な働きかけにより活動の場は区を越えて広がっており、幅広いシニアの方、心のよりどころを探している方などにとって大変なプラス要素となっている様子を実感し、地域貢献出来る喜びを感じております。

さらに同年、市内の障がい者施設と共同開発したオリジナル

珈琲豆&癒し処 ちろりや

〒236-0022 横浜市金沢区町屋町 19-4

(電話) 045 - 367 - 9371

(FAX) 045 - 367 - 9371

ホームページ: <http://tiroriya.com>

クッキーの販売をスタート。純粹に味で勝負できる製品ができたこと背景には、長年、障がい者雇用について研究をされている横浜市立大学の影山教授との、産業クラスター研究会を通じた出会いが大きく、当店の CSR(企業の社会的責任)を強く意識するようになるきっかけにもなりました。現在は、地元の障がい者施設との連携に取り組み、当店の商品に深く関わる軽作業を多数依頼するまでに発展し、作業所との関わりは不可欠なものとなりました。

横浜市立大学のご指導によるマーケティング体験

影山教授のご指導で、横浜市立大学エクステンション講座でクッキーの販売を実施しました。また、影山教授の講義の一コマで、多くの学生へ当店の品質へのこだわりと CSR の取り組みについてお話をさせていただくとともに試食モニターの実施が可能となり、自分たちだけでは不可能な大規模なマーケティングリサーチをすることができ、今後の商品開発に非常にプラスになりました。

産業クラスター研究会に入会してからは、影山教授との出会いを筆頭に、会員の皆様から多大なご協力をいただき、金沢まつり(いきいきフェスタ)、よこすか産業まつりに出店することができ、地域とのつながりが一層強まるとともに、さらなる地域の活性化につながれば幸いです。

将来の展望といたしましては、今後も地域の皆様から未永く支持される店を目指し、地域との繋がりを重視しながらも、全国区を目指せるコーヒーの研究を深め、魅力あるオリジナル商品の開発に取り組み、卸業務にも力を入れ、安定した経営基盤を築いていきたいと思っております。



ちろりやオリジナル商品

歴史散歩

“建武中興”の忠臣 楠木正成公(後編)

個人会員 徳山 昭仁

～日本人が長きにわたり憧れを寄せた英雄～

はじめに

前号に引き続き楠木正成公についての歴史散歩です。本号では、歴史散歩の最終地、正成公が眠る「湊川神社」について書かせていただきます。

湊川神社が建つこの周辺には、多聞通り、菊水町、楠町、橘通りという地名があります。これらは、いずれも正成公にちなんでいます。多聞通りは正成公の幼名「多聞丸」からのもので、また菊水町は楠木家の家紋菊水の紋から、橘通りは楠木氏が橘氏の後裔であったことにちなんでいます。

こうしたことから、地元を始め多くの人々からいかに思いを寄せられていたかを窺い知ることができると思います。

楠木家を祀る「湊川神社」を訪れる

湊川公園を下り、アーケード街の新開地商店街を通り過ぎて主要幹線の「大開通り」(途中から「多聞通り」)に出ました。この道を東へ600mほど進むと荘厳な神社が見えます。「湊川神社」です。正成公をはじめ楠木家一族郎党が眠るお社です。鎌倉時代の動乱の世、天皇へ忠誠を捧げ、文武に優れた武将として「建武の中興」に大きな功績を上げつつも悲運な最期を遂げられた楠木正成公。



湊川神社

正成公戦没地である湊川では、正成公を慕う地元の人々によってその塚が長い間ひっそりと守られてきました。

幾百年かの時を経て、正成公の忠臣の姿に感銘を受けられた徳川光圀公(水戸黄門)が、元禄5(1692)年墓碑を建立されたことで、正成公のご盛徳が天下に広く伝えられ、その後の幕末勤王思想の発展や明治維新への躍進力ともなったのです。長州藩士の吉田松陰、高杉晋作や薩摩藩士の西郷隆盛、大久保利通そして土佐藩士の坂本龍馬などがその墓碑を訪れています。そして、明治維新を迎え、正成公のご神霊をお祀りすることを願う国民的気運が高まり、明治天皇は神社創祀(そうし)の御沙汰書を下され、これにより明治5年に「湊川神社」が創建されました。境内には、御社殿をはじめ殉節地、墓所、徳川光圀公銅像、光圀公建碑の「嗚呼忠臣楠子之墓」の碑石、宝物殿、神能殿(能楽堂)などがあります。

訪れた日は平日の昼下がりであったにもかかわらず、境内は多くの参拝客で賑わっていました。

結びに

正成公の死後2年余の後、後醍醐天皇による「建武の中興」は終焉を迎え、足利尊氏は征夷大將軍に任じられ、再び武士による政治が行われるようになりました。足利(室町)幕府の誕生です。

♪青葉茂れる桜井の……♪で始まる唱歌、「楠公の歌」は、昭和20年代生まれの人たちまでは、一度は聞いたことや口ずさんだことがあるかと思います。私も子供の頃に亡き母が歌って、聞かしてくれたものでした。戦前の教育を受けられた人々は、斉しく正成公の大忠臣ぶりを教育されていました。しかし、時代の流れとともに物心に対する価値観は変遷し、人に対する評価も千変万化します。700年近くも前に活躍した歴史上の人物で、正成公ほどその評価に大きな振れ幅があった人物も珍しいと思われれます。戦前は、後醍醐天皇に尽くした「忠臣」、「英雄」として讃えられましたが、戦後は一転して「河内の悪党」などとも言われました。そんな正成公ですが、地元の人々をはじめ多くの日本人が今なお長きに渡って憧れを寄せる英雄です。この度の二号に渡っての



楠木正成戦没地

歴史散歩では、「湊川の合戦」で悲運の最期を遂げられ、わが街神戸で今なお「楠公さん」と呼ばれ愛され続けるこの武将の足跡を、一部ですが、辿ってみました。

鎌倉時代の動乱の世において私利私欲に走る公家や武人が多かった中、私欲を捨て、大義に生き、国のため、民衆のために尽くされた正成公のこうした生き様を、これから私たちや企業経営者も大いに学んで行けたらと願うものです。

～ 結び ～

前号でご紹介した大楠公像ですが、今年3月に、同像に隣接する兵庫区役所の建て替え工事に伴い現在の場所から移設することが明らかになりました。移設場所は住民からは同公園内への移設の希望が寄せられていますが未定だそうです。



ウィルスに罹ったら・・・

その時どうしたら良いか！！！！

事業活動紹介

企業支援事業部会 部会長 片平 梯一

セキュリティ強化に躍起になっている今日ですが、ウィルスの被害は全くなりません。

何時なるとき貴方のパソコン・スマホが被害を受けるかも知れません。罹ってしまった時どう処理すれば良いのでしょうか？ 当部会のメンバーが最近被害にあつて自力で対応した2つの事例を中心に紹介します。

被害を拡散させないように

被害を受けPCがフリーズしてしまった時・・・慌てないで下さい。

- 1) 自分のPCを隔離します・・・LANケーブルを外します、無線LANの場合はルーターの電源を落とします。(被害を広げないため)
- 2) PCの電源は決して落とさず、電源は入れたままにしておきます。
- 3) ウィルス検索を起動させ、ウィルスが見つければ削除します。
(PC画面がフリーズしても下部にある「タスクバー」は動く時があります、タスクバーにセキュリティソフトを表示させておくと良いでしょう、それとセキュリティソフトは常にアップデートして最新のものにしておきましょう)
- 4) Windowsであれば、「システムの復元」をウィルスが見つからなくても稼働させ正常時の状態に戻します。復元ポイントを定期的に作成しておいて下さい。(Windowsマーク(右クリック)⇒システム⇒システムの保護(又はプロパティ)⇒システムの復元)

- 5) それでも作動しなかったら重症です、セキュリティの専門に連絡してください。(Windows10の場合はDefenderで初期状態に戻せますが、事前にシステム全体をDVDや外付のハードディスクにバックアップしておくことをお勧めいたします。)

この状態になりますと、システムは復元できてもデータは無くなります。そのためデータのバックアップは定期的に常時行ってください。

相談窓口

被害にあったとき、下記に相談してください。

- 各都道府県警察本部のサイバー犯罪相談窓口
神奈川県の場合 電話 045-681-3180(ウィルス被害のみ)
又は <http://www.police.pref.kanagawa.jp/mes/mesd7017.htm>
- お使いになっているセキュリティソフト会社
どのセキュリティソフト会社でも相談窓口を持っています、連絡先を把握しておいてください。
- インターネット接続をしてもらったプロバイダ

ウィルス被害は、火災と同じです。常時 感知器や消火器(セキュリティソフト)を用意し万一発生した時には、延焼しないよう対処し、全力で初期消火に当たってください。そして被害報告も忘れずに。



共用レンタルサーバの新たな動向の紹介

事業活動紹介

企業支援事業部会 新井 全勝

レンタルサーバは、主にWebサイトの構築に用いられるサーバであり、専用と共用の2種類があります。専用は1人の契約者が1台のサーバを占有し、共用は複数の契約者が1台のサーバを共用するので、コストパフォーマンスの高さから利用者が多いことで知られています。当会は共用レンタルサーバを使用していましたが、サービスを終了するので別のレンタルサーバに移転して欲しいとの要請があり、調査したところ、サーバ構成、ディスク構成に新たな動向があることが分かったので紹介します。Webサイト制作の折に機会があれば推奨していきたい。

クラスタ構成サーバ

クラスタ構成サーバは、複数台のサーバ(m)を複数のユーザ(n>m)で共用するサーバであり、1台のサーバが故障したとき別のサーバで処理を継続することができます。これにより、耐故障性が向上し、レンタルサーバに求められる高い可用性、高いサーバ稼働率が実現されます。また、一時的にアクセスが集中しても、負荷分散して対応し、アクセス遅延を防止することもできます。HA(High Available)クラスタともいいます。

RAID ディスク

RAID(レイド、Redundant Arrays of Inexpensive Disks)ディスクは、複数のディスクを使い高性能、高信頼の大容量ディスクを実現する技術です。レンタルサーバでは、2台のディスクに同じものを書く

RAID1は使用されていましたが、新たにRAID5、RAID6、RAID10というタイプのものが使用できるようになってきています。

RAID5は、3台以上のディスクから構成し、データを複数のディスクにブロック単位に並行分散して配置し、さらに1台が故障したときにデータを再生するためのパリティという情報を付加して書き出すタイプのディスクです。RAID6は、RAID5に類似し、4台以上から構成し、2種類のパリティ情報を用いて2台までの同時故障に対応できます。RAID10は、RAID1を拡張し4台以上で構成し、データを複数のディスクにブロック単位に並行分散配置したものです。ディスク台数の増加により、高性能化、大容量化が実現されます。

新たな動向の狙いや背景

新たな動向が生まれた背景・狙いとして、次のことが考えられます。

- ① 主因はWebサイトの大規模化とアクセス数の増加への対応。このような要因に対応するには、サーバの可用性・稼働率の向上、ディスクの大容量化、処理の高速化が必要になります。
- ② 現状への対応だけでなく将来への対応性、すなわちサーバのスケラビリティの向上の必要性。
- ③ レンタルサーバ会社における運用コスト低減の必要性。
- ④ クラスタ構成サーバもRAIDディスクも大型機やクラウドコンピューティングの分野で培われてきた技術であり、成熟している技術で採用しやすい。

トピックス

セミナー“見せよう！中小企業・小規模企業の力”を開催して

神奈川県は毎年2月を「中小企業・小規模企業活性化推進月間」として中小企業・小規模企業の活性化を促す各種の支援イベントを県内各地で開催しています。

当会もこれに協力して、横須賀三浦地域県政総合センターの後援のもと中小企業・小規模企業の支援をするセミナーを毎年行っています。

28年度も平成29年2月15日(水)に横須賀市産業交流プラザにおいて「見せよう！中小企業・小規模企業の力」と題して、県政総合センター所長 國重正雄氏の「三浦半島地域の中小企業の現状と見通し」の講話、当会会員による最近被害にあうことの多いパソコン対策の話「情報セキュリティ被害の実態と対策」と「ウイルス対策・あなたが犯人にならないために」、(株)ヘリオス社長・富野養二郎氏の中小企業経営体験談「小さな会社の長〜い挑戦」の町工場からの成長・経営者交代の話、県の中小企業支援課の田中純氏による「中小企業・小規模企業に向けた施策」、と3時間にわたる盛り沢山のセミナーを行いました。

地元の中小企業の経営者など20名近い方々が参加し熱心に耳

を傾けて頂きました。とりわけ中小企業の経営の体験談には、なかなか聞けない経営の苦労話で参考になったとお声をいただき、これからもセミナーを開催する当会としても勉強になりました。



その後、交流サロンで開かれた希望者による懇親会にも講師の方々を交えて官民及び主催者が一緒になって中小企業・小規模企業についての苦労話や経営の相互協力などの意見交換が和やかに行われ参加者の方々の笑顔を見ながら無事終了することができました。

地元の中小企業・小規模企業の方々を力に発揮していただくために支援となるような題材を見つけて今年度も活性化推進のセミナーを30年2月に開催していきたいと考えております。

(新しい公共支援部会 部会長 加藤 幹雄)

事務局からのお知らせ

- ① 平成29年2月15日は「神奈川県中小企業・小規模企業活性化推進強調月間」行事「見せよう！中小企業・小規模企業の力」をテーマにセミナーを開催。その後の懇親会は多数の参加者があり盛況でした。詳細は、本紙トピックスのコラムおよびWebサイトをご参照ください。
- ② 3月30日 平成28年度第3回理事会開催。平成29年度予算を承認しました。
- ③ 3月31日～4月1日 個人会員有志による旅行。8名が参加。
- ④ 4月26日 平成29年度第1回理事会にて平成28年度決算を承認しました。
- ⑤ 5月10日 懇親ゴルフ会開催、法人会員と合わせて5名が参加。
- ⑥ 5月12日 平成29年通常総会と会員集会開催。総会では各議案とも異議なく承認されました。なお、退任された高橋榮一理事の後任に樋谷祐一氏が選任されました。その後、会員集会兼懇親会が開催され盛況でした。
- ⑦ 6月2日 平成29年度第2回理事会において理事長、副理事長を選任。理事長は木下氏、副理事長は阿部、加藤両氏がそれぞれ重任となりました。
- ⑧ 横須賀市立市民活動サポートセンター主催の「夏の市民活動」に参加します。当会産官学連携支援部会による小学生対象の「地震を知ろう(親子で学ぶ地震対策)」の学習会開催と横須賀市民防災センター(あんしんかん)の見学案内です。ヴェルクよこすかに於いて7月28日の開催です。多数の参加をお待ちしています。
- ⑨ 新規入会者の紹介 個人会員 大島 俊治(名古屋市) / 個人会員 榎 幸彦(横須賀市) / 個人会員 堀込 孝繁(相模原市)

(事務局 佐々木 興吉)

羅針盤

本号より「羅針盤」(コラム)をつくった。今回は、二つの大きな話題の記事がある。追浜工業会・井上道臣事務局長の巻頭言「元気な街から チャレンジする若者」と創刊以来初めて法人会員のページに登場する町の商店「ちろりや」の記事である。

前者は、日本の将来の最大課題・少子高齢化社会の問題である。倫理や理屈を云うだけでなく、実際に「若者が将来、明るい希望が持てる環境(場)創り」が大切と説かれる。その通り共感する。後者の「ちろりや」店主・長嶋謙治社長はCSR(企業の社会的貢献を果す責任)を経営理念に、実際の経営戦略も商店経営もこれを基軸に営業され、CSRの権威者である横浜市立大学・影山摩子弥教授にも高い評価を得て、横浜市金沢区町屋商店街と地域社会の活性化に活躍している。この二つの記事は、日本の将来をどう築くべきか、中小企業や商店経営に、地域社会や若者の活性化に、大いに役立つ「羅針盤」となることが期待される(昭)

発行：特定非営利活動法人 産業クラスター研究会

〒239-0847 横須賀市光の丘8番3号 YRPベンチャー棟209号

Tel & Fax : 046-847-6355 E-mail : yrp-cluster@marble.ocn.ne.jp

横浜事務所 〒236-0055 横浜市金沢区片吹69番26号

連絡先 : 046-847-6355

E-mail : yrp-cluster@marble.ocn.ne.jp

発行人：木下 武